

2023年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）



2023年8月9日

上場会社名 株式会社ツバキ・ナカシマ 上場取引所 東
 コード番号 6464 URL <https://www.tsubaki-nakashima.com/jp/>
 代表者（役職名）取締役兼代表執行役社長CEO（氏名） 廣田 浩治
 問合せ先責任者（役職名）取締役兼執行役副社長CFO（氏名） 館 尚嗣 (TEL) 06-6224-0193
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 2023年9月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)
 (百万円未満四捨五入)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	39,565	3.4	1,896	40.3	1,821	18.2	912	126.5	911	128.2	7,750	△27.4
2022年12月期第2四半期	38,258	10.1	1,352	△62.7	1,542	△52.7	403	△85.0	399	△85.1	10,682	55.1
	基本的1株当たり四半期利益				希薄化後1株当たり四半期利益							
	円 銭				円 銭							
2023年12月期第2四半期	22.93				22.88							
2022年12月期第2四半期	9.84				9.84							

(参考) EBITDA 2023年12月期第2四半期 3,444百万円 (9.4%増) 2022年12月期第2四半期 3,147百万円
 EBITDA=営業利益+減価償却費及び償却費。なお、EBITDAは金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外となっております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	163,297	57,256	57,217	35.0
2022年12月期	159,891	50,131	50,096	31.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	13.00	—	17.00	30.00
2023年12月期	—	13.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	17.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	80,000	1.2	4,500	—	3,500	—	1,700	—	—	42.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期2Q	41,599,600株	2022年12月期	41,599,600株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	1,871,615株	2022年12月期	1,871,615株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期2Q	39,727,985株	2022年12月期2Q	40,566,119株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	2
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	3
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	4
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	6
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

国内では、コロナ禍での経済活動に対する制約の解消が進み、需要が全般的に回復へ向かいました。また、半導体不足の解消により自動車産業が長らくの低迷から改善し始め、景気全体を押し上げつつあります。一方、需要の落ち込みから生産にブレーキが掛かっている工作機械は低調な状況が続いております。海外では、アメリカなどで景気回復の動きが見られますが、金利政策は高止まり見込みであり、円安も継続、また中国では、不動産不況に端を発し自動車や家電などの販売が悪化、雇用や所得も改善せず、特に若年層の失業率の上昇が重大な問題になっております。この中国の回復の鈍さなどが世界市場にも影響を及ぼしかねないため、動向を注視しております。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の売上収益は、主力事業のプレジジョン・コンポーネントビジネスの主要製品が自動車生産台数の回復の遅れや、世界的な工作機械受注の落ち込み、そして当社製品納入先の在庫調整などにより伸び悩んだものの、エネルギー価格・原材料価格上昇分の販売価格への転嫁や円安影響等あり、前年同四半期比3.4%増の39,565百万円となりました。

利益面につきましては、為替影響を除いた売上の減少に伴う利益減や、当第2四半期においてオランダのスタンピング工場閉鎖に伴う費用12億円を計上しましたが、前年同期に計上した欧州ローラービジネスの構造改革に対する費用(23億円)がなくなったことから、営業利益は前年同四半期比40.3%増の1,896百万円となりました。また、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同四半期比128.2%増の911百万円となりました。

中期経営戦略の最終年度である2023年度について、残り半期となりますが、引き続き成長戦略の伸長に注力するとともに、収益力改善を軸にした取り組みを徹底し、株主様・お客様・お取引先そしてグループ従業員に対し、よりよい企業価値の提供を行ってまいります。

セグメント業績を示すと、次のとおりであります。

プレジジョン・コンポーネントビジネス

プレジジョン・コンポーネントビジネスの売上収益は、自動車生産台数の回復の遅れ、世界的な工作機械受注の落ち込み、そして当社製品納入先の在庫調整などにより伸び悩んだものの、エネルギー価格・原材料価格上昇分の販売価格への転嫁や円安影響等あり、前年同四半期比5.0%増の37,365百万円となりました。セグメント利益(営業利益)は、為替影響を除いた売上の減少に伴う利益減や、当第2四半期においてオランダのスタンピング工場閉鎖に伴う費用12億円を計上し、一方、前年同期に欧州ローラービジネスの構造改革に対する費用(23億円)がなくなったことから、前年同四半期比53.0%増の1,816百万円となりました。

リニアビジネス

リニアビジネスの売上収益は、工作機械の受注の落ち込みや顧客の在庫調整などにより、前年同四半期比17.8%減の2,199百万円となりました。セグメント利益(営業利益)は、売上減少により前年同四半期比55.3%減の69百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ3,406百万円増加し163,297百万円となりました。これは、棚卸資産が3,671百万円増加した一方、現金及び現金同等物が7,772百万円減少したため流動資産が3,413百万円減少しましたが、設備投資により有形固定資産が3,100百万円増加し、また、無形資産及びのれんが1,493百万円、その他の非流動資産が1,892百万円増加し、非流動資産が6,819百万円増加したことによります。

負債につきましては、前期末に比べ3,719百万円減少し106,041百万円となりました。これは、借入金で2,694百万円減少したことによります。なお、前期末に財務制限条項に抵触した一部の借入金44,488百万円について、当第2四半期連結会計期間末では社債及び借入金に計上しております。

資本につきましては、前期末に比べ7,125百万円増加し57,256百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定などのその他の資本の構成要素が6,835百万円増加したことによります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間の各活動におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、914百万円の減少となりました。主な要因としては、税引前四半期利益1,821百万円、減価償却費及び償却費1,547百万円などの資金の増加要因があった一方で、棚卸資産の増加1,197百万円、営業債務及びその他の債務の減少1,255百万円、法人所得税等の支払額の増加1,512百万円などの資金減少要因がありました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出を主な要因とし、2,005百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出5,000百万円を主な要因とし、5,836百万円の減少となりました。

これらに当第2四半期連結累計期間中のUSドル高及びユーロ高を主な要因とする、983百万円の換算差額等を加算した結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は16,347百万円と前連結会計年度末と比べ7,772百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の通期の連結業績予想につきましては、2023年6月16日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において営業損失を計上した結果、当第2四半期連結会計期間末においても前連結会計年度末と同様に、一部の金融機関と締結しているシンジケートローン契約等に付されている財務制限条項に抵触しましたが、当第2四半期連結会計期間末日現在、当該抵触を理由とする期限の利益損失請求を行わないことについて該当の金融機関より承諾を得ており、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

当社の要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下の項目を除き、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

また、当第2四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積実効税率を基に算定しております。なお、当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、グループ通算制度を適用しております。

(会計方針の変更)

当社グループは、第1四半期連結会計期間よりIAS12号の修正「単一の取引から生じた資産及び負債に関連する繰延税金」を適用しております。この適用により、取引時に同額の将来加算一時差異と将来減算一時差異を生じさせる取引に関する当初認識時の会計処理が明確化され、当該将来加算一時差異と将来減算一時差異について繰延税金負債及び繰延税金資産が連結財政状態計算書にそれぞれ認識されます。

なお、当該会計方針の変更による、要約四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	24,119	16,347
営業債権及びその他の債権	20,930	21,770
棚卸資産	35,048	38,719
その他の流動資産	1,787	1,635
流動資産合計	81,884	78,471
非流動資産		
有形固定資産	30,763	33,863
無形資産及びのれん	40,958	42,451
その他の投資	212	279
繰延税金資産	2,254	2,521
その他の非流動資産	3,820	5,712
非流動資産合計	78,007	84,826
資産合計	159,891	163,297
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	7,722	7,286
借入金	52,609	10,391
未払法人所得税等	1,416	1,505
その他の流動負債	6,541	5,709
流動負債合計	68,288	24,891
非流動負債		
社債及び借入金	35,378	74,902
退職給付に係る負債	2,320	2,304
繰延税金負債	1,650	1,707
その他の非流動負債	2,124	2,237
非流動負債合計	41,472	81,150
負債合計	109,760	106,041
資本		
資本金	17,117	17,117
資本剰余金	11,519	11,569
自己株式	△2,616	△2,616
その他の資本の構成要素	6,425	13,260
利益剰余金	17,651	17,887
親会社の所有者に帰属する持分	50,096	57,217
非支配持分	35	39
資本合計	50,131	57,256
負債及び資本合計	159,891	163,297

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月 1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月 1日 至 2023年6月30日)
売上収益	38,258	39,565
売上原価	30,853	32,266
売上総利益	7,405	7,299
販売費及び一般管理費	3,982	4,088
その他の収益	32	63
その他の費用	2,103	1,378
営業利益	1,352	1,896
金融収益	784	538
金融費用	594	613
税引前四半期利益	1,542	1,821
法人所得税費用	1,139	909
四半期利益	403	912
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	399	911
非支配持分	4	1
四半期利益	403	912
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	△58	42
純損益に振り替えられない項目の合計	△58	42
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の為替換算差額	10,403	7,014
キャッシュ・フロー・ヘッジ	82	△175
ヘッジコスト	△148	△43
純損益に振り替えられる可能性のある項 目の合計	10,337	6,796
税引後その他の包括利益	10,279	6,838
四半期包括利益	10,682	7,750
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	10,675	7,746
非支配持分	7	4
四半期包括利益	10,682	7,750
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	9.84	22.93
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	9.84	22.88

第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年6月30日)
売上収益	19,631	19,863
売上原価	15,675	16,124
売上総利益	3,956	3,739
販売費及び一般管理費	2,040	2,032
その他の収益	13	26
その他の費用	2,102	1,346
営業利益 (△損失)	△173	387
金融収益	553	511
金融費用	276	306
税引前四半期利益	104	592
法人所得税費用	747	335
四半期利益 (△損失)	△643	257
四半期利益 (△損失) の帰属		
親会社の所有者	△646	256
非支配持分	3	1
四半期利益 (△損失)	△643	257
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	△21	6
純損益に振り替えられない項目の合計	△21	6
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の為替換算差額	5,990	5,554
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△2	15
ヘッジコスト	△176	△13
純損益に振り替えられる可能性のある項 目の合計	5,812	5,556
税引後その他の包括利益	5,791	5,562
四半期包括利益	5,148	5,819
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	5,143	5,816
非支配持分	5	3
四半期包括利益	5,148	5,819
1 株当たり四半期利益		
基本的 1 株当たり四半期利益 (△損失)	△15.92	6.44
希薄化後 1 株当たり四半期利益 (△損失)	△15.92	6.43

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	新株予約権	その他の資本の構成要素			
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の為替換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	
2022年1月1日 残高	17,102	11,415	△1,648	0	54	△1,021	△724	
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△58	10,400	82	
四半期包括利益	—	—	—	—	△58	10,400	82	
株式の発行	6	6	—	△0	—	—	—	
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—	
自己株式の処分	—	—	32	—	—	—	—	
株式報酬取引	—	30	—	—	—	—	—	
所有者との取引額等合計	6	36	32	△0	—	—	—	
2022年6月30日 残高	17,108	11,451	△1,616	0	△4	9,379	△642	

	親会社の所有者に帰属する持分						
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計	
	ヘッジコスト	合計					
2022年1月1日 残高	313	△1,378	27,844	53,335	34	53,369	
四半期利益	—	—	399	399	4	403	
その他の包括利益	△148	10,276	—	10,276	3	10,279	
四半期包括利益	△148	10,276	399	10,675	7	10,682	
株式の発行	—	△0	—	12	—	12	
剰余金の配当	—	—	△651	△651	—	△651	
自己株式の処分	—	—	—	32	—	32	
株式報酬取引	—	—	—	30	—	30	
所有者との取引額等合計	—	△0	△651	△577	—	△577	
2022年6月30日 残高	165	8,898	27,592	63,433	41	63,474	

当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	新株予約権	その他の資本の構成要素		
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の為替換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2023年1月1日 残高	17,117	11,519	△2,616	0	△3	6,381	△154
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	42	7,011	△175
四半期包括利益	—	—	—	—	42	7,011	△175
株式の発行	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	50	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	50	—	—	—	—	—
2023年6月30日 残高	17,117	11,569	△2,616	0	39	13,392	△329

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	ヘッジコスト	合計				
2023年1月1日 残高	201	6,425	17,651	50,096	35	50,131
四半期利益	—	—	911	911	1	912
その他の包括利益	△43	6,835	—	6,835	3	6,838
四半期包括利益	△43	6,835	911	7,746	4	7,750
株式の発行	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	△675	△675	—	△675
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	50	—	50
所有者との取引額等合計	—	—	△675	△625	—	△625
2023年6月30日 残高	158	13,260	17,887	57,217	39	57,256

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月 1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月 1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,542	1,821
減価償却費及び償却費	1,795	1,547
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△79	△75
受取利息及び受取配当金	△38	△45
支払利息	562	562
為替差損益(△は益)	△636	△795
固定資産売却損益(△は益)	△1	△15
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△937	459
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,002	△1,197
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	1,174	△1,255
その他	1,610	110
小計	1,990	1,117
利息の受取額	35	41
配当金の受取額	4	4
利息の支払額	△553	△564
法人所得税等の支払額	△890	△1,512
営業活動によるキャッシュ・フロー	586	△914
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,166	△2,023
有形固定資産の売却による収入	2	35
無形資産の取得による支出	△46	△18
その他	0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,210	△2,005
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△9,030	△5,000
リース負債の返済による支出	△166	△183
新株予約権の行使による収入	12	—
配当金の支払額	△634	△653
自己株式の売却による収入	5	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,813	△5,836
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,390	983
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△10,047	△7,772
現金及び現金同等物の期首残高	32,524	24,119
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,477	16,347

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

(1) セグメント区分の基礎

当社グループは事業を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「プレジジョン・コンポーネントビジネス」及び「リニアビジネス」の2つを報告セグメントとしております。

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営責任者が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

「プレジジョン・コンポーネントビジネス」は、精密ボール、ローラー、リテーナー及びシートメタル部品の製造販売を行っております。「リニアビジネス」は、ボールねじ及び送風機を製造販売しております。

セグメント情報は要約四半期連結財務諸表と同一の会計方針に基づき作成しております。各セグメントの営業利益は税引前四半期利益に金融収益及び金融費用を加減しており、要約四半期連結包括利益計算書における営業利益と同一の方法で測定されています。

セグメント間の取引の価格は、独立第三者間取引における価格で決定されております。

(2) 報告セグメントに関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
	プレジジョン・ コンポーネント ビジネス	リニア ビジネス				
売上収益						
外部収益	35,581	2,676	1	38,258	—	38,258
セグメント間収益	4	—	14	18	△18	—
連結収益合計	35,585	2,676	15	38,276	△18	38,258
セグメント利益	1,187	155	10	1,352	0	1,352
				金融収益		784
				金融費用		△594
				税引前四半期利益		1,542

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸料が含まれております。また、セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去等が含まれております。

当第2四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
	プレジジョン・ コンポーネント ビジネス	リニア ビジネス				
売上収益						
外部収益	37,365	2,199	1	39,565	—	39,565
セグメント間収益	1	—	15	16	△16	—
連結収益合計	37,366	2,199	16	39,581	△16	39,565
セグメント利益	1,816	69	11	1,896	—	1,896
				金融収益		538
				金融費用		△613
				税引前四半期利益		1,821

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸料が含まれております。また、セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去等が含まれております。

前第2四半期連結会計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
	プレジジョン・ コンポーネント ビジネス	リニア ビジネス				
売上収益						
外部収益	18,214	1,416	1	19,631	—	19,631
セグメント間収益	2	—	7	9	△9	—
連結収益合計	18,216	1,416	8	19,640	△9	19,631
セグメント利益 (△損失)	△316	138	5	△173	0	△173
				金融収益		553
				金融費用		△276
				税引前四半期利益		104

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸料が含まれております。また、セグメント利益(△損失)の調整額には、セグメント間取引の消去等が含まれております。

当第2四半期連結会計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
	プレジジョン・ コンポーネント ビジネス	リニア ビジネス				
売上収益						
外部収益	18,683	1,179	1	19,863	—	19,863
セグメント間収益	1	—	8	9	△9	—
連結収益合計	18,684	1,179	9	19,872	△9	19,863
セグメント利益	262	119	6	387	—	387
				金融収益		511
				金融費用		△306
				税引前四半期利益		592

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸料が含まれております。また、セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去等が含まれております。